

第4節 主 催 事 業

(1) 学校利用指導者研修会

① 目 的

効果的な利用を図るため、望ましい計画の立て方や研修活動の進め方などについて、研修し協議する。また、実技研修を通して指導技術の向上を図る。

② 期日、対象者及び参加者数

○第1回

昭和62年4月22日～23日 対象38校、参加者34名
(昭和62年6月2日～7月16日の利用校)

○第2回

昭和62年6月23日～24日 対象45校 参加者37名
(昭和62年8月27日～昭和63年2月19日の利用校)

○第3回 第2回に含めて実施

○第4回

昭和63年2月23日～24日 対象38校 参加者30名
(昭和63年4月12日～6月4日の利用校)

③ 研修内容

- 全体会（入所手続きと準備、プログラム編成と展開）
- 実技研修（野外活動、キャンプファイバーの演出等）
- 研修活動内容の紹介
- その他（研究協議、同時入所校間での協議と調整）

(2) 少年団体等利用指導者研修会

① 目 的

利用の効果を高めるため、研修計画立案の方法や研修の進め方などについて、研修、協議を行い、実技研修により指導技術の向上を図る。

② 期日、対象者及び参加者数

○期日 昭和62年6月6日～7日
○対象 利用団体の指導者 参加者36名

③ 研修内容

- 全体会（入所に必要な手続きと準備等）
- 実技研修（キャンプファイバーの演出、複合野外ゲーム）
- 施設見学（野営場、総合活動館等）
- プログラム編成と研究協議

(3) 野外活動実技指導者研修会

① 目 的

青少年教育に携わる指導者が、野外活動の技術や指導力の向上を図るため、野外活動に関する基礎知識や技能指導法について研修し、その資質の向上を図る。

② 期日、対象及び参加者数

○期日 昭和62年8月6日～9日（3泊4日）
○対象 県内の高校生、大学生、社会教育関係者、学校教育関係者の初心者、定員40名、参加者23名

③ 研修内容

- 理論（野外活動の意義と目的、野外活動プログラムのつくり方、野外活動と自然保護等）
- 実技（楽しいハイキング、野外活動レクリエーション キャンピング、キャンプファイバー）
- 演習（野外活動に生かすクラフト）

(4) 自然に鍛える少年のつどい

① 目 的

夏の大自然の中でキャンプ生活や野外活動を通して、たくましく（主体的、自律的に）生活できるようにし、併せてリーダーの素地を養う。

② 期日、対象及び参加者数

○期日 昭和62年7月21日～24日（3泊4日）
○対象 県内小・中学校より推薦され、又は公募した5年生以上の児童、生徒。定員35名 参加者53名

③ 研修内容

- すまい作り ○野外炊はん ○登山（三森峠・御靈樋崎間14km縦走） ○ウォークラリー
- ドラム缶ふる ○お祭り（夜店、ポン・ファイヤー）
- すまい撤収

(5) 親子キャンプのつどい

① 目 的

テントによるキャンプ生活や自然散策、キャンプファイバーを囲んでの楽しい語らいを通して親子のふれあい、他家族との交流、親睦を図る。

② 期日、対象及び参加者数

○期日 昭和62年7月31日～8月2日（2泊3日）
○対象 小・中学生とその親、又は成人を含む数人単位のグループ。定員130名 参加者140名

③ 研修内容

- キャンプ（テント設営・撤収、野外炊はん） ○交歓のつどい ○フィルドワーク ○キャンドルファイバー

(6) 秋の自然に親しむ親子のつどい

① 目 的

野外活動を通して、秋の自然に親しみながら、親子のふれあいを深め、他家族との交流、親睦を図る。

② 期日、対象及び参加者数

○期日 昭和62年10月24日～25日（1泊2日）
○対象 小・中学生とその親、又は成人を含む数人単位のグループ。定員100名 参加者79名

③ 研修内容

- いも煮会 ○キャンドルファイバー ○室内ゲーム

(7) 親子雪のつどい

① 目 的

冬の厳しい自然の中で、そり遊びなどの野外活動を通して寒さを克服する強い体と意志を鍛える。また、もちつき、ゲーム・ダンスなどを楽しみながら、親子のふれあいを深め、他家族との交流、親睦を図る。

② 期日、対象及び参加者数

○期日 昭和63年1月30日～31日（1泊2日）
○対象 小・中学生とその親、又は成人を含む数人単位のグループ。定員100名 参加者135名

③ 研修内容

- 雪あそび ○交歓のつどい ○そりあそび
- もちつき大会